

医療行動科学 7

4 年次 前学期	授業科目責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学）		
学習の目標 (GIO)	<p>「診断する」とは、患者に付随している異常な状態を病態生理学的立場のみならず、心理的、社会的要因を含む広い立場から、現状で可能な診断情報を収集し、総合的な（病態、臨床疫学的な確率データ、患者の意向・価値観、医師と患者の心理など）判断に基づいて最適な医療を行うための根拠を得る過程（プロセス）であることを理解する。</p> <p>「歯科総合診療学」とは、歯科医学の細分化傾向に対して口腔疾患を総合的に診るとともに、患者の全身機能との関連、生活習慣や環境などの背景をも配慮し、歯科の common disease を対象にプライマリ・ケアとして治療と継続的なフォローを包括的に行う学問であることを理解する。</p>		
授業担当者	伊藤孝訓，多田充裕，内田貴之，遠藤弘康，青木伸一郎，岡本康裕，（歯科総合診療学），大山 篤（神戸製鋼所健康管理センター）		
教科書	「歯科医療面接アートとサイエンス」伊藤孝訓編著，砂書房（第2版） その他にプリントを配布する。		
参考図書	<p>「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」伊藤孝訓，寺中敏夫編集，クインテッセンス出版</p> <p>「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー 患者の診かたと歯科診療」黒崎紀正他編集，医歯薬出版</p> <p>「臨床医になるための必修アイテム」医療面接から臨床判断学まで，竹村洋典，南江堂</p> <p>「臨床入門 臨床実習の手引き」福井次矢，医学書院</p> <p>「口腔診断学」下里常弘他，医学書院</p> <p>「歯科口腔診断ハンドブック」増田 屯，藤澤盛一郎，医学情報社</p> <p>「歯科医のための医療コーチング入門」岸 英光，砂書房</p>		
実習器材	なし		
評価方法 (EV)	<p>講義：授業時間内に行う平常試験（60%） 制作物・体験学習レポート（30%） 受講態度（10%）をもって総合評価（最終評価）する。</p> <p>平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。</p> <p>受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。</p> <p>授業時間数の 1/5 以上を欠席した場合、成績評価は 0～60 点とする。</p>		
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>医療の本質は不確実性にあるといわれており、この問題に対処する方法として、本講義は歯科医師として眼前の患者さんに最良な治療やマネジメントが奏功できるように、臨床各科の知識を頭の中で整理統合し、再編成できる考える力を育てる学問であり、臨床において患者に対応する際に即役立つことなので、興味を抱いて講義に参加して欲しい。E-mail(shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。</p>		

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月4日(木) 13:00～14:30	ガイダンス 1) 医療者の態度 2) 診断学とは 3) 医療の不確実性 4) 患者医師関係	<p>【準備学習項目】 1. 医療者としてふさわしい態度について説明できる。</p> <p>【講義】 302 教室</p> <p>【学習内容】 1. 期待される医師の態度を説明できる。 2. 口腔診断学と歯科総合診療学を説明できる。 3. 総合診療学の歯科臨床における役割を説明できる。 < B-1-1) ~ 4)/ 必 -2-B ></p>	伊藤孝訓
4月11日(木) 13:00～14:30	臨床判断学(1) 1) 臨床(診断)推論 2) 診断プロセス 3) 医学判断学	<p>【準備学習項目】 1. 基本的な問題解決法について説明できる。</p> <p>【講義】 302 教室</p> <p>【学習内容】 1. 臨床情報には不確実性要素を含み、不確実性下で臨床判断を行うことを説明できる。 2. 基本的な診断論理を説明できる。 3. 意思決定の方法について説明できる。 4. 診断プロセス(診断情報の収集・分析・決定)について列挙し説明できる。 5. 医学判断学について説明できる。 < B-1-1) ~ 4)/ 必 -12-A, 必 -12-B ></p>	伊藤孝訓
4月18日(木) 13:00～14:30	臨床判断学(2) 1) EBM 2) 決断分析の実際	<p>【準備学習項目】 1. 診断について説明できる。</p> <p>【講義】 302 教室</p> <p>【学習内容】 1. 診断テストを使うことができる。 2. EBMの概念を説明できる。 3. 臨床判断分析の手順を説明できる。 4. Decision tree による実際例を説明できる。 5. NBMの概念を説明できる。 < B-1-4), C-4-1)/ 必 -12-A, 必 -12-B ></p>	内田貴之

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月25日(木) 13:00 ~ 14:30	医師の心理 1) 誤診 2) 医療過誤最小化	【準備学習項目】 1. 医療過誤について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 経験則による判断に内在する問題やバイアスを説明できる。 2. 臨床判断時の誤診を導く心理特性について説明できる。 3. 診断プロセスの各ステップに起こるバイアスを説明できる。 4. ヒューマンエラーについて説明できる。 5. 歯科の医療過誤訴訟の特性について説明できる。 6. クリティカルパスについて説明できる。 < A-5-2/ 必-4-B, 必-4-D >	伊藤孝訓
5月9日(木) 13:00 ~ 14:30	患者の心理 1) 歯科患者の特異性 2) 心理的配慮	【準備学習項目】 1. 歯科患者の心理状態について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 歯科患者の特異的な心理状況について説明できる。 2. 患者対応時の注意点を列挙できる。 3. 患者の望む治療者(歯科医師)の人間像を説明できる。 < B-2-2/ 必-2-B, 必-10-I >	多田充裕
5月16日(木) 13:00 ~ 14:30	医療面接(1) 1) コミュニケーションの目的・意味 2) コンテキスト 3) メタメッセージ	【準備学習項目】 1. 一般的なコミュニケーションの基礎について説明できる。 【講義】 1. 医療コミュニケーションの目的・意味を列挙し説明できる。 2. 会話の含意(伝えたい内容や意味)の重要性が説明できる。 3. コンテキストを説明できる。 4. メタメッセージを説明できる。 < A-7-1) ~ 2), E-1-1), F-1/ 必-8-B, 必-10-A >	大山 篤
5月23日(木) 13:00 ~ 14:30	医療面接(2) 1) 医療面接の意義・目的 2) 会話のマナー 3) コミュニケーションの進め方 4) 感情面への対応	【準備学習項目】 1. 医療現場での面接の大切さを説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 医療面接の意義・目的を列挙し説明できる。 2. 医療面接の4要素(尋ねる, 聴く, 答える, 観察する)について説明できる。 3. コミュニケーションスキルを列挙し説明できる。 4. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 5. 基本的な医療者の態度について説明できる。 < A-7-1) ~ 2), E-1-1), F-1/ 必-8-B, 必-10-A >	青木伸一郎
5月30日(木) 13:00 ~ 14:30	平常試験1		伊藤孝訓 多田充裕
6月6日(木) 13:00 ~ 14:30	医療面接(3) 1) OSCE 2) 患者からの情報収集 3) 患者-歯科医師コミュニケーション 4) 患者教育	【準備学習項目】 1. OSCE(試験)の意味を概説できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 聴く態度の重要性について説明できる。 2. 患者とのよいラポールを確立するための方法を説明できる。 3. 患者教育のためのコーチングスキルを説明できる。 4. OSCE(試験)の実施の仕方を概説できる。 < A-7-1) ~ 2), E-1-1), F-1/ 必-8-B, 必-10-A >	青木伸一郎
6月13日(木) 13:00 ~ 14:30	医療面接(4) 1) ロールプレイ 2) 会話分析(トランスクリプト)	【準備学習項目】 1. 医療におけるコミュニケーションの重要性について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. ロールプレイの目的や方法を説明できる。 2. 信頼関係を確立するための医療面接スキルを説明できる。 3. トランスクリプトの目的や方法を説明できる。 < A-7-1) ~ 2), E-1-1), F-1/ 必-8-B, 必-10-A >	青木伸一郎

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月20日(木) 13:00 ~ 14:30	診療録(1) 1) 診療録の構成 2) 現症(全身的所見) 3) 現症(口腔内・外所見) 4) 口腔内診査 5) 患者背景(生活習慣・社会歴) 6) 主訴 7) 現病歴 8) 既往歴(医科的・歯科的) 9) 家族歴	【準備学習項目】 1. 診療録に記載する内容について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 診療録の構成を列挙できる。 2. 現症の基本的な記載について説明できる。 3. 口腔内診査の項目を列挙できる。 4. 患者背景の重要性を説明できる。 5. 主訴の定義と歯科特有の主訴を列挙できる。 6. 現病歴の基本的な記載について説明できる。 7. 医科的・歯科的既往歴の重要性を説明できる。 8. 家族歴の重要性を説明できる。 < F-1-1)/ 必 -5-A, 必 -8-C, 必 -10-B >	岡本康裕
6月27日(木) 13:00 ~ 14:30	診療録(2) 1) POS 2) POMR 3) SOAP	【準備学習項目】 1. 問題指向型診療録(POMR)について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. POSについて解説できる。 2. POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。 3. SOAPの記載項目を挙げて各々について説明できる。 4. 診断思考に基づいた問診(病歴聴取)を説明できる。 < F-1-1)/ 必 -5-A,B >	岡本康裕
7月4日(木) 13:00 ~ 14:30	診 察 1) 口腔内診査 2) 診査所見 3) 理学的診査と病態	【準備学習項目】 1. 歯科疾患の診断に必要な口腔内診査について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 口腔の特異性と口腔病変に対する基本的な考え方を説明できる。 2. 口腔内診査の特性について説明できる。 3. 口腔内診査に用いる基本的な診査法の術式を説明し、各評価基準を列挙できる。 4. 診査所見と病態の関連が説明できる。 歯の実質欠損 擦過診 温度診 電気診 水平・垂直打診 動揺度 ポケット測定 < F-1-1)/ 必 -10-B,C,F,G,H >	岡本康裕
7月11日(木) 13:00 ~ 14:30	症候学(1) 1) 歯の症候 2) 歯髄の症候 3) 根尖歯周組織の症候 4) 辺縁歯周組織の症候 5) 口腔粘膜の症候 6) 口腔の感覚異常(知覚・味覚)	【準備学習項目】 1. 齲蝕、歯髄疾患および歯周疾患について説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 齲蝕の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 2. 歯髄疾患の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 3. 根尖性歯周炎の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 4. 辺縁性歯周炎の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 5. 口腔粘膜疾患の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 6. 口腔の感覚異常の診査所見、病態を関連づけることができる。 < F-2-4)-(4),F-3-3)-(1) ~ (4)/ 必 -9-B, 必 -11-D >	遠藤弘康
7月18日(木) 13:00 ~ 14:30	症候学(2) 身体的な歯科臨床推論	【準備学習項目】 1. 歯科疾患の症状、診査所見、病態を説明できる。 【講義】 302 教室 【学習内容】 1. 歯科診断における思考過程について説明できる。 2. 症状、診査所見から診断名を推論できる。 < D-4-6),F-2-4)-(3),F-4-5)/ 必 -9-B, >	多田充裕
9月12日(木) 13:00 ~ 14:30	平常試験2		伊藤孝訓 多田充裕